

第1回世田谷区ピアサポート活動ワーキンググループ～大切にしたい視点・目指す姿～
への質問・意見及び回答

第1回世田谷区ピアサポート活動ワーキンググループにおいて、いただいたご質問・ご意見等を取りまとめるとともに、事務局より次のとおり回答いたします。

※なお、ご質問・ご意見の中の個人を特定する内容については、掲載しておりません。

テーマ「大切にしたい視点・目指す姿」についての意見

・仕事にも、居場所的な要素があるのが健康的だと思う。半円の表で分けられて示されていたが、最終的には全て混ざるのかもしれないと思った。

・誰もがピアという視点を忘れず生きることが大事だと思いました。

・ピアという言葉が急に脚光を浴びてきていると感じる。ピアという言葉だけが一人歩きしないよう気を付けたい。

・全員がピアサポーターであるのかという疑問点が自分の中で生まれました。私はピア電話相談をやっているが、やはり、お給料がいただけるというところが大きい反面、お祭りなどに、少しのお金しかもらえないけど、やっていて楽しいというところがあります。あと、通常のプログラムに参加して、楽しい活動も大切だと思いました。何も得るものがない活動なんてないと思います。

・考えがコロコロ変わる、自分が信じられない。他人も信じられない。人間不信。というところが、私にもあります。やはり、規則正しい生活、服薬で、できるだけ病気の症状が出ないようにするのが、大切なのだな、と思いました

・参加して良かった。言葉の力をとても感じたので、言葉を大切に使って（介して）行う活動だなという意識をもちました。

・仲間作りを大切に支援してもらいたいです

・相談支援に於いて、当事者の意志決定支援を行うにあたって、単に情報を提示するのではなく、支援員や方法、手段の一つとして、ピアスタッフが連携し、信頼、心理的安全性のあるつながりを築くことが、先、ということ。

・ピアサポートの最大の重要ポイントは、症状は違っても、同じような病による苦しみの体験を通っている点です。専門職との協働の中で、このピアならではの強みを、より一層生かしてほしい。

【事務局より】ご意見ありがとうございます。今後区として施策を進めていく上では、皆様の「大切にしたい視点・目指す姿」のご意見が大変重要であると考えております。いただいたご意見を、今後の施策検討につなげていけるよう、取り組んでまいります。

・ピア活動の視点は何かあるかと思う。共感性、安心感、希望は分かりましたが、その他には何かありますか？

【事務局より】ピアサポートは、共感性や安心感、希望（ロールモデル）という役割を担うことができると考えていますが、一方で、ピアサポート活動を行なっている方からは、「ピア活動をすると元気になることがある。」「相談者としてセルフケアをする習慣がついてくる。」「お互い様。与えることが、実は与えられている。」など、ピアサポートを提供する側の効果や相互作用に関するお話がありました。

当事者が「ピアサポーター」として共に仕事をすると、ピアサポーターが発する活きた言葉が当事者や支援者、社会で生きている他の誰かのところに響く、ということを実感すると言われていました。多様な人がいることが当たり前で、人の多様性を認め、尊重する社会につながるものと考えています。

・また昔やっていたさくら会の夕食会イブニングケアのような活動をぜひ再会してほしいです。

【事務局より】夕方から夜にかけての時間帯の活動や居場所は、ピアサポート活動の場のひとつと考えております。ご意見を今後の施策検討の参考とさせていただきます。

今回のワーキンググループを含めた、ピアサポート活動に関する意見や提案、感想など

・ピアサポート活動の大まかな様子や活動されている方の状況を知る上での先駆けとして良かったと思う。

・ピア活動を実際している2名の方のお話が聞いて参考になりました。もっと沢山の方の体験の話が聞きたいと思いました。

・登壇者の方々などの人選も良く、分かりやすかった

・来て良かった。(会場参加) 言葉の力をとても感じたので、言葉を大切に使う(介して) 行う活動だなという意識をもちました。

・生産性でなく人間性にとても感動しました。皆さんの貴重な体験を活動に活かしていただきたいと思います。

・もっと活動する場を広げて欲しい

・人と人とのつながりについて、大切なものとはと考えさせられた。

・素直なご意見が沢山伺えて考えさせられました

・やはり、誰に対しても、真摯に向きあう姿勢がないと、成り立たない事を学んだ。

・自分のおかれている環境が変化するのについていく事ができなくなりつつあり自分が落ち着ける場所を失いつつあるのかもと不安がよぎりました。おだやかな人生をすごしたいです。

・私は地域生活支援拠点事業に関わらせていただいているピアです。MOTAさんの電話相談が自然発生的に出てきたというのが感動しました。あと、病院訪問を行っているのですが、サポートセンターきぬたのスタッフの説明がとても参考になりました。どうして退院したくないのか、聞いてみるのは有効なのだと思います。あとB型、地域活動支援センターの当事者の方の「人を信じられない」という言葉、なるほどと受け止めま

<p>した。今後のピア活動の参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>【事務局より】ご意見、ご感想をありがとうございます。登壇者の皆様それぞれの立場から、実践されているピアサポート活動と、「大切にしたい視点・目指す姿」をお話いただきました。参加者の皆様のご意見も合わせ、今後の施策の参考にさせていただきます。第2回以降も同様に進めていきますので、ご参加をお待ちしております。</p>
<p>・全体的に話が聞き取りにくく大事なテーマについても聞くことが出来なかった気がする。</p>
<p>【事務局より】特にオンラインにおいて音声聞き取りづらいことがあったと認識しております。申し訳ございません。第2回以降の企画、運営面で改善に努めます。</p>
<p>・楽しく聴かせていただきました ありがとうございます 尚、メール添付のURLの"http"部分が欠除してしまっていたので連絡差し上げます</p>
<p>【事務局より】世田谷区のメールでは、メール本文にあるURLの先頭「http」は削除しています。大変わかりにくいご案内で申し訳ございませんでした。第2回以降はわかりやすくご案内できるように工夫いたします。</p>
<p>・ZOOM ウェビナーというのは初めてでしたが、時期的にも、人数的にも可能であれば、ZOOM でみんなの顔を見ながら、話し合いが出来たりすると良いのかなと思いました。</p>
<p>・実際にグループワークを行っていきたい。</p>
<p>・ピアサポート団体の活動内容の紹介が主だった気がします。ワーキンググループ、ということだったので、意見交換をする時間が欲しかった。</p>
<p>【事務局より】区事務局としても、初めてのZOOM ウェビナーによるオンライン開催で、ご参加の皆様にはお聞きづらい点等があったかもしれませんが、ご協力ありがとうございました。</p> <p>本来は、全ての参加者の皆様のご意見をいただき、意見交換できることが望ましいと認識しておりますが、コロナ禍を鑑みながら、当事者・ご家族・支援関係者・その他関心のある方へ広く参加いただくこと、今後の施策化へ向けて意見をいただくことを目的に開催しております。いただいたご意見は、第2回以降の開催、運営の参考とさせていただきます。</p>
<p>・初めてZOOMなるものを経験させていただき、また、申し込みの際に担当の方が丁寧な対応をしていただきありがとうございました。 今後は病院のワーカーなど、いろいろな目線でピアというものを語って欲しいと思いました。</p>
<p>【事務局より】ご意見ありがとうございます。ピアサポート活動の拡充においては、様々な立場の方のご意見をお聞きしながら進めていくことが大切と考えております。いただいたご意見を今後の企画の参考とさせていただきます。</p>
<p>・特にピア電話相談の活動はとても興味深く相談を受ける側もする側においても良い活動だと思う。ピア電話相談ならではの内容もあると思うが、プライバシーの問題を解決</p>

できる形でデータ化していけると支援者としても何か為になるものが見えてきそうに思える。

【事務局より】ご意見ありがとうございます。区としても様々なところで行われているピアサポート活動の事例を積み重ねて、効果的な施策展開に向けて検討を進めてまいります。その中で、他の事業でも転用できる成功事例やノウハウなどは、支援者間で共有できるように取り組んでまいります。

・ありがとうございました。お恥ずかしながら、ピアという存在を知らず興味がわき、今回参加させていただきました。障害を持っている方が活躍できる場として、このような活動の場があるということを知り、益々興味がわきました。また参加させていただきます。

【事務局より】ご関心をもっていただき、ご参加いただきありがとうございます。「ピア」という言葉は、現状では広く認識されているものではないと認識しておりますが、「ピア」という言葉を使わなくとも、「当事者同士の支え合い」という活動の場や、取り組まれている方は多くいらっしゃると思います。区として、ピアサポート活動やその効果、必要性の認知を広げ、活動の拡充を進めていきたいと考えております。今後ともご参加をお待ちしております。

・まだわたしは興味（勉強していくこと）は良いと思っているのですが、実際出来るか、なれるかは別のことだと思っている。感じています。

【事務局より】ピアサポート活動は、お一人お一人のみなさんのそれぞれの様々な生活や活動の中での選択肢の一つ、と考えています。世田谷区ピア養成講座を受講いただき、知識や経験を得ていただいたり、様々なピアサポート活動をされている方のお話を聞く等をされる中で、ご自身がどのように感じ、どのような活動をしたいと思うか、選んでいただけたらと思います。また、ピアサポート活動を実際に行う中で得られるものもあるのではないかと思います。そのような選択ができるような体制づくりを進めていきたいと考えております。

・一番大切なのは人間関係。私の一番のデメリットです。そんな人でも、ピアスタッフはできますか？

【事務局より】「ピアサポート活動」と言っても、その活動の内容や人との関わり方は様々です。例えば、精神科病院入院者への動機づけ支援のように、入院している方と直接会って個別にお話するものから、病院や学校、企業などで自分自身の体験を語る、というものまで様々です。得意なこと、苦手なことは皆それぞれであり、それらを尊重し、ご自身に合うピアサポート活動、ピアスタッフの活動を選んでいただきたいですし、選択できる体制づくりを進めていきたいと思っています。

・ピアサポート活動をされる方々の存在が、不動産店や家主の偏見解消の大変重要なキーポイント、キーパーソンだと感じています。今後のご活動に期待しております！

	<p>【事務局より】ご意見ありがとうございます。令和3年度からの「せたがやノーマライゼーションプラン」においても精神障害施策の充実として、住まいの確保支援の取り組みを位置付けており、ご意見のとおり、障害理解の促進、啓発、偏見解消のためには、当事者による講話等、ピアサポーターのお力が大変重要と考えております。ピアサポート活動のひとつの場、機会として、今後の拡充に向けて進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・私自身ピアサポートできる自分になっていきたい。今日はありがとうございました。 	<p>【事務局より】ありがとうございます。今後ともご参加をお待ちしております。</p>
	<p>【事務局より】ありがとうございます。今後ともご参加をお待ちしております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター養成研修修了者の加算を伴う、フォーマルな支援の価値、困難さの例、インフォーマルな SHG などのピア活動へのアクセシビリティの確保 	<p>【事務局より】ご意見ありがとうございます。今回のワーキンググループのパネルディスカッションにおいても意見がありましたが、誰かを支え誰かに支えられるということは、日常生活の中で自然発生的に行われていることであり、そういう意味では誰もがピアサポーターと捉えることもできると考えています。</p> <p>そのような中で、ピアサポート活動をフォーマルな支援として実施していく範囲や、セルフヘルプグループの活動を支えていく方法など、今後のワーキンググループの中でも意見交換をしながら、検討してまいりたいと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・当事者や家族、専門家が一同に集まって、日頃の生きづらさ等をはき出して頂いて、皆でよく聴いて、病の体験を分かち合う活動をしています。月4回、定例会で、テーマを決めて協議しています。皆様が本音で自身を語り合えて、気づき、学びを得て日常に生かしていきます。こうした体験共有のアプローチ、人員の有効性、重要性についてシンポジウムで語って、お役に立てたら幸いです。 	<p>【事務局より】ご意見ありがとうございます。今回のワーキンググループのパネルディスカッションにおいても意見がありましたが、誰かを支え誰かに支えられるということは、日常生活の中で自然発生的に行われていることであり、そういう意味では誰もがピアサポーターと捉えることもできると考えています。</p> <p>そのような中で、ピアサポート活動をフォーマルな支援として実施していく範囲や、セルフヘルプグループの活動を支えていく方法など、今後のワーキンググループの中でも意見交換をしながら、検討してまいりたいと思います。</p>
	<p>【事務局より】ありがとうございます。今後施策を進めていく上では、様々な活動、お立場の方の貴重なご経験、ご知見が大変重要です。今後のワーキンググループの企画の参考とさせていただきます。</p>